



日本赤十字社



健診センターニュース



師走を迎え、今年も残すところあとわずかとなりました。クリスマスや年末年始のイベントも多くなり、慌ただしい時期ですね。事故のないよう気をつけて良い年を迎えましょう。

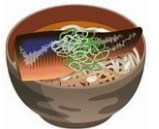


何故、大晦日に「年越しそば」を食べるの？

大晦日に欠かせないのが「年越しそば」。その起源は江戸時代といわれ、「年越しそば」という呼び名が全国的に広まったのは明治以降のようです。なぜ大晦日にそばを食べるようになったのでしょうか？その理由は、切れやすい麺であることから1年の厄を断ち切るという説や、細く長い形状から長寿を願う説など、験担ぎ・願掛けめいたものが多くみられます。

年越しそばは地方によっても違いがあり、福井県の「越前そば」、新潟県の「へぎそば」、長野県の「戸隠そば」、岩手県の「わんこそば」などがあります。北海道や京都では「にしんそば」（京都は淡い色の薄口だしに対して、北海道は濃口醤油を使った関東風が主流です）。高知県の「鯉そば」、島根県のそばといえば「割子そば」ですが、年越しそばの食べ方としては「釜揚げ」が多いそうです。鹿児島県の「さつま揚げ入りそば」、沖縄県の「沖縄そば（そば粉ではなく小麦粉、塩、かん水を使用）」など、『ご当地そば』が年越しそばとして食べられているようです。讃岐うどんの本場香川県では、そばならぬ「年越しうどん」を食べて縁起を担ぐ人もいます。最近では「年明けうどん」といって、うどんに赤い食材を添え、今年1年が幸せであるように願いつつ、1月15日までに食べるという風習も広がりつつあるようです。

一般的な年越しそばといえば、海老(エビ)天をのせる天ぷらそばではないでしょうか。海老は長寿を願う縁起物でおめでたい食べ物とされています。また、にしんは子孫繁栄を願い、薬味に添えられるネギは“(一年の労を)ねぎらう”という意味が込められているそうです。



年越しそばは、大晦日のどの時間帯に食べますか？昼食や夕食として、夕食以降に、除夜の鐘を聞きながら、など家々によって違うと思います。厄を落とすという意味合いがあるので、年をまたいで食べるのはよくないとされています。このように、年越しそばは1年の厄災を断ち切って、元気で健やかに新年を迎えたいという願いが込められた縁起物といえそうです。今年1年を振り返り、新年が良い年であるように祈りつつ年越しそばを食してはいかがでしょうか。



12月に交通事故が多いのは何故？

年の瀬も押し迫り、世の中が気ぜわしくなるこの時期は、特に交通事故に注意が必要です。交通事故についての様々な統計を見ると、いずれも12月が交通事故発生件数の最も多い月となっています。事故が多くなる理由として次のことが考えられます。

- 日没が早くなり、夕方の交通量が多い時間帯に視界が悪くなる。
 - 年末に向けて、帰省や旅行などで交通量が増加する。
 - 忘年会等で飲酒の機会が増え、飲酒運転による事故が増える。
 - 積雪や路面凍結によるスリップ事故が増える。
- これらの理由1つ1つに対処していくことが、事故防止に

有効と言えそうです。早めのライト点灯、遠出の際は渋滞を見越して計画する、飲酒運転は絶対しない、気象情報で雪や凍結の情報を確認するなど、しっかり備えてください。何より大事なことは気持ちに余裕を持ち、譲り合いの精神で運転することです。事故無く年を越し、新たな1年を迎えましょう。



健診センターからのお知らせ

—新型コロナウイルス感染症対策について—

5類感染症に移行後も、引き続き感染予防のため、マスク着用、手洗い、換気等にご協力ください。平熱を把握するため、1週間程度検温してご来院ください。発熱、感冒症状、息苦しさ、強いだるさ、下痢などの症状がある、または続いている方は、検査が実施できない場合があります。体調不良により来院できないときは、健診センターまでご連絡ください。



健診のご予約・お問い合わせは
下記までお気軽にお電話ください

624-0906
舞鶴市字倉谷427 健診センター
TEL (0773) 75-1920
FAX (0773) 75-7380
月～金 8:30～17:00
(土・日・祝日・年末年始12/29～1/3・創立記念日6/1休)

